

大 阪 市 中 教 研 会 報

No. 143

編集者 大阪市立中学校教育研究会
発行人 大阪市立中学校教育研究会
会長 松 井 信 次
発行所 大阪市立中学校教育研究会
大 阪 市 立 上 町 中 学 校
TEL 06-6762-6556



『持続可能な 社会の担い手として』

大阪市教育局委員会事務局 指導部

指導部長 大 西 啓 嗣

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市中学校教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

会員の先生方におかれましては、各教科・領域での理論の構築と教育内容の調査・研究ならびに授業実践等に取り組まれるとともに、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めて、そのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

思い返せば、3年あまりの長きにわたり、新型コロナウイルス感染症が流行する中、学校現場では校長先生方をはじめ、教職員が一丸となり、様々な教育課題の解決にあたってくださいましたこと、本当にありがとうございます。

このような新たな課題に対応するためには、創造的な思考が必要であり、既存の経験や知識だけではなく、よりよいアイデアやアプローチを模索する必要があります。さらに、これを実現するためには、確固たる基礎知識の習得や他者との協力、問題解決への取組、そして習得した知識や経験を実際の社会で活かす姿勢の形成が重要です。これは、今の時代に求められる子どもたちの資質や能力そのものです。

学校教育において、この視点から具体的な取組を進めるためには、教材の選定や指導計画の策定、授業の運営、そして学習成果や授業の効果を総合的に評価することが必要であり、これにより「持続可能な社会の担い手」を育成することが可能となります。そして、「教師は子どもの主体的な学びを支援する伴走者」と示された中教審答申の「令和の日本型学校教育」にあるように、生徒と共に考え、生徒自身が主体的考えていけるような授業から、生徒が「今日も楽しみだ。」「これについて考えたい。」「みんなで活動したい。」と

いう意識で望むウェルビーイングの実現に向けた学習が進められるのではないのでしょうか。

一方で、教育環境におけるデジタル化が大きく進展するなど、コロナ禍以前とは大きく異なる多様な教育活動が、日々の実践の中で生み出されてきたことも事実です。

今後は、これまで制限されてきた教育活動について、その必要性を十分に検討したうえで、積極的に実施していくことが求められますが、コロナ禍の中で生み出された新しい学びの在り方についても研鑽を深め、教員一人一人が研究の幅や視野を広げられる機会としていただけると幸いです。

皆様の長年にわたる研究の取組や成果を、ぜひ若手や経験の浅い教員に継承していただくとともに、研究活動をさらに活性化いただくことで、大阪市の教育がよりいっそう発展すると考えます。

教育委員会といたしましては、「大阪市教育振興基本計画」に即した教育活動の推進に向け、引き続き大阪市立中学校教育研究会との緊密な連携を図るとともに、学力向上支援チーム事業により、教育ブロック担当指導主事やスクールアドバイザーなどから構成される「支援チーム」を活用し、教員の授業力向上への支援を図ってまいります。

また、各校が、多様な知識・経験を持つ人材との連携や、当該人材を組織内に取り入れることにより、社会のニーズに対応しつつ、高い教育力を持つ組織となるための大学連携にも努めてまいります。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、教員の研究活動を活性化する取組を通して、「自ら学ぶ力」を育み、創造性豊かな個性あふれる子どもたちの育成をお願いいたします。



日々の実践の振り返り をしませんか？

大阪市立中学校教育研究会

副会長 上 田 健 二

新型コロナウイルス感染症の制限がなくなり、対面での会議や研修会が開催されるようになりました。10月に開催される大阪市立中学校教育研究会の最も大きな行事である全市研究発表会（令和5年10月11日(水)、ただし【保健体育部：11月1日(水)、生活指導部 11月2日(木)、技術・家庭部 11月22日(水)】）が近づいてまいりました。それに先立ち、8月30日(木)・31日(金)のブロック研究発表会では、会員の皆様が各教科・領域で積極的に研究活動や研修を進めていただきましたことに感謝申し上げます。

本研究会の今年度の研究テーマは「持続可能な未来社会の創り手となる資質・能力の育成 ～ウェルビーイング・探求学習・総合的読解力～」を主題として、全市研究発表会では16部門で開催される予定です。

この全市研究発表会は、年に一度、午後の貴重な授業時間に、大阪市立中学校教育研究会会員の先生方による研究成果を発表する場です。近年、学習指導要領・大阪市教育振興基本計画の改定があり新しい教育目標が掲げられています。しかしながら同時期に感染症拡大の影響で、研究会や研修会も中止や縮小されました。

が、授業実践ではオンライン授業等 ICT 機器の導入が急速に進みました。

その中、会員の先生方一人ひとりが、教科指導等において日々の授業を見直し、生徒が主体的に学習する意欲を高めるために日々研鑽されているところですが、なお一層に進化充実させていくことが求められています。

特に2学期には学校行事が集中し、日々の校務に追われている中で、研究会の準備や研修を深める時間を確保することが困難に感じるかもしれませんが、なによりも、私たち教員が自ら研究に対する意欲や情熱を持つことが必要であることはいうまでもありません。教育の目的である、子どもたち一人ひとりと社会全体が現在から将来にわたって幸せで満ち足りた状態となるウェルビーイングを目指す必要があると思います。

ぜひ研究発表会に参加していただきまして、この機会に「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、自らの授業実践を振り返り、市内すべての中学校の会員の先生方で本研究会を盛りあげていただきますよう心からお願いいたします。

新 ブ ロ ッ ク 委 員 長 の あ い さ つ

＝第1ブロック＝

「新たな学びの実践と交流へ」

委員長 田野原 千 佳（西淀中学校）

第1教育ブロックでは、今年度も「豊かな心の醸成と社会の変化や課題に対応できる資質・能力の育成－『新たな学び』の実践と交流－」を継続した研究主題とし、各部門において専門委員の先生方を中心に研究を進めているところです。

今年度は、コロナ禍における制限が解除され、8月31日に第1教育ブロック研究発表会を無事に開催することができました。

今後も、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通して、子どもたち一人ひとりが確かな学力を身につけられるよう研究活動を進めてまいります。

最後になりましたが、運営に携わっていただいた専門委員の先生方には充実した研究発表会となるようご尽力いただいたことに、そして、会員みなさまにはお忙しい中研究会に参加してくださったことに感謝申し上げます。

＝第2ブロック＝

「主体的で、協働的な学び手を育む教育の創造」

委員長 中 山 寿 男（大宮中学校）

第2教育ブロックでは昨年度に引き続き、研究テーマを「主体的で、協働的な学び手を育む教育の創造－『つながり』を生かした学びの場を通して－」と掲げ、研究活動に取り組んでいます。8月31日には、ブロック研究発表会を開催し、それぞれの会場において実

多い取組を行うことができました。1学期末から夏季休業期間にかけてご準備いただきました専門委員の皆様に、心より感謝申し上げますとともに、会員の皆様が日々の研究の成果をそれぞれの学校現場で発揮され、私たちの前に立ちはだかるさまざまな課題の解決に向

けて前進されていかれますことを念願しております。
今後とも、心豊かに力強く生き抜く人材の育成をめ
ざし、教員としての資質や指導力の向上に互いに努め

ながら、充実した研究活動を進めてまいりたいと思
います。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、願
いいたします。

=第3ブロック=

「新しい未来の姿を構想した実践交流」

委員長 藤 本 哲 (南港南中学校)

教育こそが、社会をけん引する駆動力の中核を担う
営みであり、一人ひとりが豊かで幸せな人生と社会の
持続的な発展に向けて極めて重要な役割を有してい
るとされていることから、第3ブロックの研究主題を
「豊かな心の醸成と持続可能な社会の創り手としての
資質・能力の育成」、副題には「新しい未来の姿を構
想した実践交流」としています。

新型コロナウイルスの影響で、3年に渡り制約され
てきた教育活動も5類感染症への引き下げとともに、

今年度は各部門で、多彩な実践事例研究発表を実施
することができました。

これまでの厳しい環境を乗り越えた、子どもたちが
切り拓く新しい未来の姿を常に構想しながら、これ
まで以上に実りある教育実践の交流をブロックで目
指して参ります。

今後とも、みなさまのご理解とご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。

=第4ブロック=

「社会の Well-being を目指して」

委員長 南 義 徳 (長吉西中学校)

第4教育ブロックは本年度も「見方・考え方を働か
せ、資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く教育の
創造」を研究主題とし、各教科・領域の専門委員の先
生方にご尽力いただきながら、実りある研究を目指
した活動を続けています。

現代は「未来の予測が困難な時代」と言われてい
ます。

急速に変化する時代の中で身につけるべき資質・能
力を育むためには、新たな知を生み出す能動的な学び

が必要となります。自分の可能性を認識し、他者を価
値ある存在として尊重できる子どもの育成のためには、
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化と充
実が強く求められます。

子どもたちが豊かな未来を切り拓く力を前向きに身
につけ、Well-being<精神的豊かさ>を重視した社会
を創造する、そのための研究活動が今後も深化・充
実できますよう、皆様のご理解とご協力を心から願
い申し上げます。

令和 5 年度 大阪府立中学校教育研究会 評議員会記録

【第3回】 令和5年7月3日(月) 16:00～
〈於：大阪市教育センター 8階研修室5〉

評議員会及び会計説明会

〈会計説明会〉

- (1) 令和5年度 会計予算・執行・決算について
- (2) 教育センター直接執行分について
- (3) 会費徴収、資金移管日時等について

〈評議員会〉

- (1) 全市研究発表会・ブロック研究発表会について
- (2) その他
 - ① 役員、専門委員一覧表について
 - ② 全国・近畿大会予定について
 - ③ 部門別研究主題、ブロック別研究主題及び
研究発表会予定日一覧について
 - ④ 中教研会報No.142号の原稿作成について
 - ⑤ 総合的読解力特別研究部について

【第4回】 令和5年8月28日(月) 16:00～
〈於：大阪市教育センター 8階研修室5〉

- (1) 全市研究発表会【10月11日(水)】について
- (2) ブロック研究発表会について
- (3) 研修計画について
 - ① 全体研修会【11月9日(木)】15:30～17:00
 - ② 評議員研修会【1月26日(金)】16:00～17:00
- (4) 研究集録『研究の歩み』『会報』の作成
について
- (5) 小中一貫教育について
- (6) 総合的読解力育成カリキュラムについて
- (7) その他
 - ① 会計事務連絡
 - ② ホームページについて
 - ③ 連絡事項

令和 5 年 度 研 究 発 表 会

10 月 11 日 (水) 14:00 ~ 17:00

部 門	研 究 主 題	内 容	会 場
1. 国 語	『生きる力』としての 国語力の育成 ー 自分の思いや考えを深める 言語活動の充実 ー	「がんばる先生支援事業」研究発表会 。公 開 授 業 「『水問題』の解決方法をについて話し合い、自分の考えを深めよう」 田 辺 中 三 溝 雄 介 。研 究 協 議 。講 演 「深い学びを実現するパフォーマンス評価 ー 国語科を中心に ー」 京都大学大学院教授 西 岡 加名恵 様 。あ い さ つ 大阪市教育委員会	田 辺 中 14時
2. 社 会	「一人ひとりの未来に つながる社会科の創造 ～ 問い・探究、 そして参画へ～」	「がんばる先生支援事業」研究発表会 。公 開 授 業 ・歴史的分野 「律令国家の変化と貴族の政治」 天王寺中 上 嶋 一 志 。講 演 龍谷大学法学部教授 中 本 和 彦 様 。研 究 協 議 。指 導 講 評 大阪市教育センター指導主事 吉 中 いづみ 様	天王寺中 14時
3. 数 学	「未来を創造する数学の 主体的・対話的で深い 学びをめざして」	。公開授業・授業研究報告 1 年 円すいの中心角 天下茶屋中 恩 田 征 季 2 年 データの活用 佃 中 東 山 槇之助 3 年 関数 $y=x^2$ 友 渕 中 和 家 祥 一 。講 演 「数学科における『説明・証明』の能力の育成」 奈良教育大学数学科教育教授 近 藤 裕 様 。講 評 大阪市教育委員会	佃 中 14時
4. 理 科	「理科の見方・考え方を 働かせて、未来を創造 する資質・能力を育む 理科教育」	。公 開 授 業 (DVD 視聴) 「生物のからだのつくりとはたらき 3 章 動物のからだのつくりとはたらき」 堀 江 中 門 口 和 樹 。研究協議、質疑応答 本日の公開授業について 堀 江 中 門 口 和 樹 指導助言 大阪教育大学教育学部教授 辻 岡 強 様 。報 告 事 項 。指 導 講 話 大阪教育大学教育学部教授 辻 岡 強 様 。あ い さ つ 大阪市教育センター教育振興担当総括指導主事 山 崎 向 太 様	堀 江 中 14時
5. 音 楽	「未来を切り拓く、 豊かな感性を育む 音楽教育の創造」 ー 主体的・対話的で 深い学びの実現に向けてー	【歌 唱 領 域】(1 年 歌唱) 。公 開 授 業 題材「音楽の特徴を比較しながら曲想を味わい表現を工夫して歌おう」 野 田 中 真 鍋 愛 子 。研 究 協 議 議長 今 津 中 吉 田 マリ子 。指 導 講 評 神戸市教育委員会事務局指導主事 山 越 祥 子 様 大阪芸術大学特任教授 尾 張 佳 子 様 。あ い さ つ 大淀中学校 有 田 伸一朗 ----- 【器 楽 ・ 創 作 領 域】(2 年 創作) 。公 開 授 業 題材「『音の進み方』の特徴を生かして、歌をつくろう」 八 阪 中 乾 正 義 。研 究 協 議 議長 大正東中 梁 久 子 。指 導 講 評 奈良県教育委員会事務局指導主事 鳥 羽 愛 様 元大阪教育大学特任教授 田 中 龍 三 様 。あ い さ つ 我孫子中学校 中 本 宏 司	野 田 中 14時 八 阪 中 14時

5. 音 楽	「未来を切り拓く、 豊かな感性を育む 音楽教育の創造」 ー主体的・対話的で 深い学びの実現に向けてー	【鑑賞(文楽)領域】(2年鑑賞) ・公開授業 題材「日本の伝統音楽に親しみ、文楽のよさや魅力を味わおう」 東陽中 株本 貴成 様 議長 東 淀 中 吉 田 美 希 ・研究協議 ・指導講評 京都市総合教育センター指導主事 水 谷 佳 代 様 四天王寺大学非常勤講師 廣 津 友 香 様 喜連中学校 川 西 孝 亮 ・あいさつ	東陽中 14時
		【ICT活用領域】(1年創作) ・公開授業 題材「音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう ～順次進行と跳躍進行～」 玉津中 吉田 季陽子 議長 宮原 中 牛丸 弦太 ・研究協議 ・指導講評 滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課主査 伊 賀 りつ子 様 大阪市教育センター総括指導主事 讃 井 雄 様 東中学校 安 藤 寛 ・あいさつ	玉津中 14時
6. 美 術	「造形的な見方・考え方を 働かせるための学習をめざす」 ～美術が果たす役割を 実感させるために～	・研究発表 「すべては妖怪のしわざ ～自分がイメージした妖怪を描こう～」 淀 中 黒 笹 一 憲 ・研究協議 ・指導講評 奈良教育大学 美術教育講座教授 竹 内 晋 平 様 大阪市教育センター指導主事 東 影 美 香 様	東三国中 14時45分
9. 英 語	「4技能5領域の 総合的な能力向上」 ー2025大阪万博でコミュニケー ションが取れる生徒の育成 をめざしてー	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・研究発表 「コミュニケーション能力の向上をめざして」 此 花 中 川 田 翔 ・パネルディスカッション 研究授業の振り返り 大阪市の今後の英語教育について ・あいさつ 大阪市教育委員会	此 花 中 14時 ※各自上履き をご持参く ださい。
10. 道 徳	「多面的・多角的な視点で考え、 議論する道徳教育の創造」 ーグループワークを取り入れ言語力 を育てる道徳科授業づくりー	・公開授業 「卒業文集最後の二行」(日本文教出版 あすを生きる 中学校3年⑤) 大正西中 中 川 明 子 ・班別研究協議 教材の深め方について 新北島中 岡 田 芳 和 ・指導助言 大阪市教育センター総括指導主事 大 宅 淳 一 様	大正西中 14時半
11. 特 別 活 動	「生徒一人ひとりが主体的に 生きる特別活動の創造」	「がんばる先生支援事業」研究発表会 1. キャリア教育 ご講演とキャリア教育体験 「らしさ発見プログラム ～職場体験から新たなキャリア教育体験 ～キャリアコンサルタントとの対話による効果～」 講 師 NPO 法人 JAE キャリアコーディネーター 角 野 綾 子 様 2. 生徒会活動 ・学校活性化事業「がんばる先生支援」グループB研究発表 「第67回 全国特別活動研究協議大会大阪大会・第41回 近畿特別活動研究協議会大阪大会」報告 ・第7分科会報告 「自他の個性を理解して尊重し、より良い人間関係の形成を図る『笑育』」 白 鷺 中 青 木 信 一 ・第11分科会報告 「スマホ依存にオール大阪で取り組む ～大阪市スマホサミットの軌跡～」 難 波 中 佐 和 保奈美 ・子どもシンポジウム「OSAKA スマホサミット 2023」 白 鷺 中 泉 和 樹 時 程 1. あ い さ つ 2. 研 究 主 題 3. キャリア教育ご講演・体験 4. 研 究 協 議 5. 全国特別活動研究協議大会報告 6. 指 導 助 言 大阪市教育センター指導主事 小 池 里 佳 様	大阪市教育 センター 研修室 5 14時
13. 特 別 支 援 教 育	「子どもたち一人一人が、 共に学びに向かい 生 きる力を育む教育をめ ざして」	・講演会 「自立活動の視点を活かした教育活動の工夫」 講 師 大阪体育大学教育学部教授 藤 原 彰 子 様	新北野中 (オンライン配信) 15時 *小教研と 連携し、 小学校も 視聴可能

14. 保健養護	「養護教諭の専門性と 資質の向上をめざして」	○第3教育ブロック（a 中央区・西区・大正区・浪速区・西成区）共同研究 「スマホ・ネット時代から見えてくる子どもたちの健康課題」 南 中 平 山 莉 奈 木 津 中 松 島 光 鶴見橋中 金 石 綾 乃 ○研 究 協 議 ○指 導 講 評 大阪市教育委員会指導主事 鈴 木 真 美 様	大阪市教育 センター 講 堂 15時 保健養護部員 のみ参加
15. 情報技術	「多様化する情報を 活用する力を 身につける」	○研 究 発 表 (1) 統計教育部門 「総務省統計局主催の講習会の分析とまとめ」 阪 南 中 小 寺 英一朗 玉 津 中 槌 田 祥 孝 (2) 情報教育部門 「進展する ICT 教育について（実技）」 西 中 吉 村 祥 弘 株式会社 S K Y	大阪市教育 センター (AL教室・ 講義室) 15時
16. 教育メディア	「『生きる力』と『感動する心』を はぐくむ教育メディアの研究」 ～学校図書館、放送・ 視聴覚教育を通して～	○授 業 研 究 報 告 ～思考ツールの授業への活用～ 「物質 化学変化と原子・分子」 宮 原 中 吉 田 優 「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」 十 三 中 宮 崎 道 明 ○研 究 協 議 ○講 演 大阪教育大学教授 森 田 英 嗣 様	Teams のオ ンラインによ る配信を各校 で視聴してく ださい。 15時

10 月 11 日の全市研究発表会以外の日に実施された又は実施される部門

11月 1 日 (水)

7. 保健体育	「子どもの運動に対する関心・ 意欲を高めることにより体 力の向上を図るとともに、 将来に夢や目標を持って学 習に取り組める生徒を育成 する保健体育の授業づくり」 ー ダンス授業の研究 ー	○公 開 授 業 「ダンス」 加賀屋中 保健体育科 ○実 技 講 習 日本ストリートダンスパフォーマンス協会 ○研 究 協 議 ○指 導 講 評 大阪教育大学准教授 井 上 功 一 様 ○指 導 助 言 大阪市教育委員会	加賀屋中 14時 受付 13時半
------------	---	---	---------------------------

11月 2 日 (木)

12. 生活指導	「生徒指導上の今日的な課題 を把握し、地域・関係機関 と連携・協働した効果的か つ組織的な生活指導体制を 研究する」	○講 演 演題 「P B S について」 講師 大阪教育大学准教授 庭 山 和 貴 様 ○研 究 発 表 「各校での実践報告」 井高野中 上 田 奏 三 稜 中 尾 山 一 誠 天 満 中 嘉 名 優 介 十 三 中 鳥 飼 正 葵	大阪市教育 センター 2 階講堂 14時半 受付 14時10分
-------------	--	---	--

11月22日 (水)

8. 技術・家庭	「いのち輝く未来社会を 実現（創造）する 技術・家庭科教育」 ～深い学びへと導く、見方・ 考え方を働かせた実践～	【技術分野】 ○公開授業（録画上映）、研究発表 B 生物育成の技術 大和川中 芦 田 万紗宏 ○研 究 発 表 C エネルギー変換の技術 平 野 中 水 野 敦 司 【家庭分野】 ○公 開 授 業 A 家族・家庭生活 此 花 中 大 島 萌 ○研 究 発 表（誌上発表） A 家族・家庭生活 南港南中 原 田 綾 菜 今年度の研究発表会は、「第 62 回 近畿地区中学校技術・家庭科研究大会 大阪大会」と兼ねて実施します。 開催日 令和 5 年 11 月 22 日 (水) 午前 分科会 午後 全体会 詳細は、「大阪大会のご案内（最終案内）」(リーフレット)をご覧ください。	第 2 分科会 豊中市立 文化芸術 センター 多目的室 受付 9時半 第 4 分科会 此花中学校 受付 9時～
-------------	--	--	---